

第97回神戸人類学研究会

アフリカ民族誌を出来事の連なりで書く： 願望と可能性を語る質的探究の試み

石田慎一郎（東京都立大学教授）

【日付】2024年2月28日（水）

【時間】17時00分～19時00分（16時30分開場）

【場所】神戸大学 鶴甲第一キャンパス E棟学術交流ルーム（E410）

【開催形式】対面のみ

発表要旨：

私の英文民族誌は、20年超の参与観察と出来事記述の手法で、
待つことを知るイゲンベの人々の姿を描いた。

その際、第一に、出来事の群れを連なりとして描く、その〈筋書き〉を求めた。
畢竟、共同的な意図の顕在化と潜在化の両極を人々が往復する様を描くに至った。
第二に、特定の時空での事件を出来事として意味づける現地の〈論理〉を求めた。
それは人間の願望と未来の可能性を語る。出来事が未来に開かれると群れは連なりとなる。

（本発表は、編者・出版社の許諾を得て、『質的探究 法社会学』
〔樫村志郎先生古稀記念〕に寄稿した論文の内容を出版に先立って口頭発表するものです。）

【参加登録】

おおよその参加人数の把握のため、参加を希望される方は、2月27日（火）までに
右のQRコードからご登録をお願いします。

特に懇親会に参加を希望される方は、事前の登録をよろしくお願いいたします。

【主催】神戸人類学研究会

【共催】神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート（Promis）

【問い合わせ先】神戸人類学研究会事務局 anthropologykobe@gmail.com

